

CASBEE神戸ver.3
 (仮称)介護付有料老人ホーム さわやか神戸西館新築工事

■使用評価マニュアル: CASBEE神戸ver.3

欄に数値またはコメントを記入

■評価ソフト: CASBEE神戸ver.3/CASBEE-BD

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質										3.3
Q1 室内環境							0.39		-	3.5
1 音環境						3.7	0.15	3.6	1.00	3.7
1.1 室内騒音レベル		TVを付けている時はイヤホンで聴く		4.0	0.40	4.0	0.40			
1.2 遮音				3.8	0.40	3.6	0.40			
1 開口部遮音性能		アルミサッシT-2を使用		5.0	0.42	5.0	0.30			
2 界壁遮音性能		PB12.5+12.5両面張り		3.0	0.58	3.0	0.30			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				3.0	-	3.0	0.20			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				3.0	-	3.0	0.20			
1.3 吸音				3.0	0.20	3.0	0.20			
2 温熱環境				2.9	0.35	2.8	1.00			2.9
2.1 室温制御				3.3	0.50	3.0	0.50			
1 室温		インバーター制御		3.0	0.38	3.0	0.57			
2 外皮性能		ALC内壁面ウレタン25吹付		3.0	0.25	3.0	0.43			
3 ゾーン別制御性		ゾーニング設定		4.0	0.38		-			
2.2 湿度制御				2.0	0.20	2.0	0.20			
2.3 空調方式				3.0	0.30	3.0	0.30			
3 光・視環境				3.6	0.25	3.6	1.00			3.6
3.1 昼光利用				4.2	0.30	4.2	0.30			
1 昼光率		居室 1.95% 共用部 6.8%		5.0	0.60	5.0	0.60			
2 方位別開口					-		-			
3 昼光利用設備				3.0	0.40	3.0	0.40			
3.2 グレア対策				4.0	0.30	4.0	0.30			
1 昼光制御		深いバルコニーが庇替わりとなり、四面に回っている		4.0	1.00	4.0	1.00			
3.3 照度				3.0	0.15	3.0	0.15			
3.4 照明制御				3.0	0.25	3.0	0.25			
4 空気質環境				4.4	0.25	4.2	1.00			4.3
4.1 発生源対策				5.0	0.50	5.0	0.63			
1 化学汚染物質		F☆☆☆☆使用		5.0	1.00	5.0	1.00			
4.2 換気				3.0	0.30	3.0	0.38			
1 換気量				3.0	0.50	3.0	0.33			
2 自然換気性能				-	-	3.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮				3.0	0.50	3.0	0.33			
4.3 運用管理				5.0	0.20		-			
1 CO ₂ の監視				-	-		-			
2 喫煙の制御		建物全体が禁煙		5.0	1.00		-			
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-			3.7
1 機能性				4.8	0.40	4.6	1.00			4.7
1.1 機能性・使いやすさ				5.0	0.40	5.0	0.60			
1 広さ・収納性		居室18㎡以上		-	-	5.0	1.00			
2 高度情報通信設備対応				-	-		-			
3 バリアフリー計画		バルコニーと居室床±0		5.0	1.00		-			
1.2 心理性・快適性				5.0	0.30	4.0	0.40			
1 広さ感・景観		廊下内々2.75m 天井高さ2.7m		-	-	4.0	0.50			
2 リフレッシュスペース				-	-		-			
3 内装計画		階別 テーマを決めた色調を行う		5.0	1.00	4.0	0.50			
1.3 維持管理				4.5	0.30		-			
1 維持管理に配慮した設計		鉄部さびにくい仕様		5.0	0.50		-			
2 維持管理用機能の確保		各階に洗濯・汚物処理専用室を設けている		4.0	0.50		-			
2 耐用性・信頼性				3.0	0.30		-			3.0
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50		-			
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80		-			
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20		-			
2.2 部品・部材の耐用年数				3.0	0.30		-			
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20		-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				3.0	0.20		-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		ALC版の揺れをPBIに伝えにくいUT工法を採用		3.0	0.10		-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10		-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔				3.0	0.20		-			
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.20		-			
2.4 信頼性				3.2	0.20		-			
1 空調・換気設備		電気・ガスの分散化・非常電源設置		4.0	0.20		-			
2 給排水・衛生設備				3.0	0.20		-			
3 電気設備				3.0	0.20		-			
4 機械・配管支持方法				3.0	0.20		-			
5 通信・情報設備				3.0	0.20		-			

3 対応性・更新性			3.0	0.30	3.0	1.00	3.0
3.1 空間のゆとり			3.0	0.30	3.0	0.50	
1 階高のゆとり			3.0	0.60	3.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ			3.0	0.40	3.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.0	0.40		-	
1 空調配管の更新性		PS設置	3.0	0.20		-	
2 給排水管の更新性			3.0	0.20		-	
3 電気配線の更新性			3.0	0.10		-	
4 通信配線の更新性			3.0	0.10		-	
5 設備機器の更新性			3.0	0.20		-	
6 バックアップスペースの確保		非常電源	3.0	0.20		-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.31	-	-	2.8
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮		地域交流室を設けカラオケ大会等、入居者との交流を促進する	3.5	0.30	-	-	3.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		植栽を十分に行い緑豊かな環境としている	4.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.3
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.5
1 建物外皮の熱負荷抑制		ALC壁とサッシに遮熱フィルム貼	4.9	0.18	-	-	4.9
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEIm] = 0.78	3.4	0.51	-	-	3.4
4 効率的運用			3.0	0.21	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00	-	-	
4.1 モニタリング			3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制			3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			3.0	-	-	-	
4.1 モニタリング			3.0	-	-	-	
4.2 運用管理体制			3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.3
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水		節水型仕様としている	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.2	0.60	-	-	3.2
2.1 材料使用量の削減			3.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		再生クラッシュラン(下地調整)再生加熱アスファルト混合物(アスファルト舗装)	4.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			3.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.6	0.20	-	-	3.6
3.1 有害物質を含まない材料の使用		F☆☆☆☆規格使用	5.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70	-	-	
1 消火剤			-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)			3.0	0.50	-	-	
3 冷媒			3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.0
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCo2が一般的な建物と同等	3.7	0.33	-	-	3.7
2 地域環境への配慮			2.6	0.33	-	-	2.6
2.1 大気汚染防止		煤塵の発生する機器類は使用していない	3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.7	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減		透水性アスファルトで施工	4.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制		食材搬入等の車は敷地内まで進入	4.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制		ゴミ置き場を設置している	4.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			2.7	0.33	-	-	2.7
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1 騒音			3.0	1.00	-	-	
2 振動			-	-	-	-	
3 悪臭			-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制			3.0	-	-	-	
3 日照阻害の抑制			3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			1.6	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			1.0	0.70	-	-	
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	